



そよかぜ 4月園便り

令和3年4月1日(木)
西東京市立そよかぜ保育園

入園、進級 おめでとうございます

いよいよ2021年度が幕を開けました。
新しいお友だち27名が仲間入りして、総勢118名でそよかぜ号の出航です。

スタートに際して、改めて「こんな保育園でありたい」という私たちの願いをお伝えしたいと思います。

- ・子どもたちが**安心**できる所であり、毎日**安心安全**な遊びや生活をして、**安全**な食事が食べられる…「**安**」
- ・「この人と一緒にいたい」と思える**信頼**できる大人(職員)がいる
また保護者の方にとって「この保育園なら我が子を預けても大丈夫」と思える…「**信**」
- ・子どもにとって**楽しい**ことがたくさんあり、毎日行きたいと思える場所である
保護者の方が「子育てが**楽しい**」と思えるよう寄り添い、共に歩みを進める…「**楽**」
- ・子どもたちが毎日**笑顔**でいられて、職員も保護者の方も**笑顔**になれる…「**笑**」

私たちはこの「**安**」「**信**」「**楽**」「**笑**」の願いを四つ葉のクローバーに込めました。

そしてクローバーにはもう一つ、乳幼児期の子どもたちにとって欠かすことのできない「**愛情**」「**栄養**」「**運動**」「**睡眠**」という大切な四つの意味も込められています。

子どもたちはたくさんの愛情の中で、栄養たっぷりの食事をし、思い切り身体を動かしてあそび(運動)、ぐっすり眠る(睡眠)。そんな生活を日々保障していきたいと思っています。

毎年子どもたちにはこのクローバーをモチーフにしたマスコットを渡しています。
昨年まではフェルトで作成していましたが、今年度から焼き印を押した木製のマスコットになりました。
私たちの思いが届くと嬉しいです。

子どもたちが心身ともに健康で心から笑い、目を輝かせて物ごとに向かい、居心地の良い環境の中で保護者の方が安心して仕事出来るように職員一同が同じ思いで保育をしていきます。今年度もどうぞよろしく
お願いいたします。

4月 園行事

1日(木) 入園式 14日(水) 布団乾燥 23日(金) 避難訓練 27日(火) 誕生会

▼新クラス懇談会(16:30~17:15)

5オクラス 4月8日(木)	4オクラス 4月13日(火)	3オクラス 4月15日(木)
2オクラス 4月20日(火)	1オクラス 4月22日(木)	0オクラス 4月27日(火)

Today

今日

わたしは お皿を洗わなかった
 ベットは ぐちゃぐちゃ
 浸けといた おむつは だんだん くさくなってきた
 きのう こぼした 食べかすが 床の上から 私を見ている

窓ガラスは よごれすぎて アート みたい
 雨が降るまで このままだと思う
 人に見られたら なんていわれるか
 ひどいねえとか だらしない とか
 今日一日 何をしていたの? とか

わたしは この子が眠るまで
 おっぱいをやっていた
 わたしは この子が泣きやむまで ずっと抱っこしていた
 わたしは この子と かくれんぼした
 わたしは この子のために おもちゃを鳴らした
 それは きゅうっと 鳴った
 わたしは ブランコをゆすり 歌を歌った
 わたしは この子に していいことと悪いことを 教えた

ほんとに いったい 一日 何をしていたのかな
 たいしたことは しなかったね たぶん それは ほん
 ども こう 考えれば いいんじゃない?

今日 一日 わたしは
 澄んだ目をした 髪ふわふわな この子のために
 すごく大切なことを していたんだって
 そしてもし そっちのほうが ほんとうなら
 わたしは ちゃーんと やったわけだ

伊藤 比呂美 訳

この詩は ニュージーランドの子育て支援施設の壁に貼っていたもので、誰の詩か不明ですが、子育てに疲れ果て、でも頑張っている日本のお母さんたちに紹介したいと思った。と翻訳された伊藤さんと言われてます。人を慰め励ますための、読み人知らずの詩が沢山あるなかの一つだそうです。

かわいい我が子 でも・・・ 葛藤する日々 ちょっと手を止めても良いかな～
 と 紹介しました。

「たのしい!」「おもしろい!」 が いっぱいの毎日に向けて 出発進行!!
 あそびの中から、生きる根っこは育ちます。

水・泥・砂・太陽が子どもを育ててくれます。
 生きる力を学び、自然の中で五感を働かせ、探索し、自らの感覚を育てていきます。
 楽しく体を動かすリズム遊びは、何度も重ねることにより、いっそうしなやかさを増し、五感が育っていきます。

そして 美味しい 給食 沢山食べます。「生きる力の原動力」に必要な栄養をしっかり取り、
 体を休め また 遊ぶ・・・

幸せに生きる土台づくりである 乳幼児期、ゆっくりと一歩ずつ歩んでいきましょう。